

◎お知らせ◎

■調布市景観形成ガイドライン(色彩編)を策定しました!



市では、調布らしい魅力ある景観を守り育てていくため、調布市景観条例と調布市景観計画を運用しています。

このたび、色彩を活用した景観まちづくりについて解説した『調布市景観形成ガイドライン(色彩編)』を策定しました。

このガイドラインでは、景観計画の色彩基準や地区ごとのお勧めする建物の外壁の色(推奨色)を解説している他、色彩を活用した景観づくりや、色彩の基礎知識を紹介しています。

市のホームページなどで閲覧できますので、是非ご覧ください!
<トップページ⇒まちづくり・環境⇒都市計画・街づくり⇒景観まちづくり⇒調布市景観形成ガイドライン(色彩編)>

■調布市景観審議会市民委員を募集します!

多摩川や国分寺崖線などの恵まれた自然、落ち着いた風情を感じる深大寺周辺のまちなみなど、調布の魅力を活かした魅力的な景観づくりについて、一緒に考えてくださる方のご応募をお待ちしています。



調布市景観審議会とは?

調布市景観審議会は、市内の良好な景観形成を推進するため、必要な事項を調査・審議するために設置された市長の附属機関で、委員総数は10人以内(市民、学識経験者、市民団体及び関係団体から推薦された者)で構成されます。

応募手続

【応募対象】

市内に3か月以上居住し、年4回程度、開催する会議(平日昼間開催)に出席できる20歳以上の方(外国人含む)。

【応募方法】

①申込書、②小論文を作成の上、都市計画課窓口(市役所7階)に直接提出して下さい。提出物などは返却いたしません。

※①申込書は、都市計画課窓口(市役所7階)で配布の他、市ホームページからも印刷可能です。

※②小論文は、テーマ「調布市の魅力的な景観づくりについて」とし、文字数は800～1200字程度となります。

【応募期間】

平成27年4月1日(水)～4月24日(金)までの期間

※午前8時30分から午後5時15分(土日・祝日を除く)まで

【その他】

その他詳細は市のホームページに公開しています。

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしていきます。

発行 調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel : 042-481-7746 Fax : 042-481-6800 mail : keikaku@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちようふ 景観 だより

平成27年3月31日発行

第23号



■家の周りでできる工夫について考えよう!

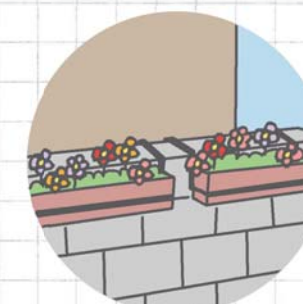
自分の家の周りでできる、まちなみの魅力を高める工夫について考えてみよう!玄関周りの工夫、植栽、プランター、生垣など、通りに面する部分は建物の「顔」となる場所です。少しの工夫をするだけで、まちなみの景観をより魅力的にすることができます。



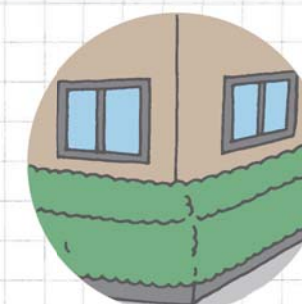
玄関周りの工夫



花壇などの植栽



塀などにかけるプランター



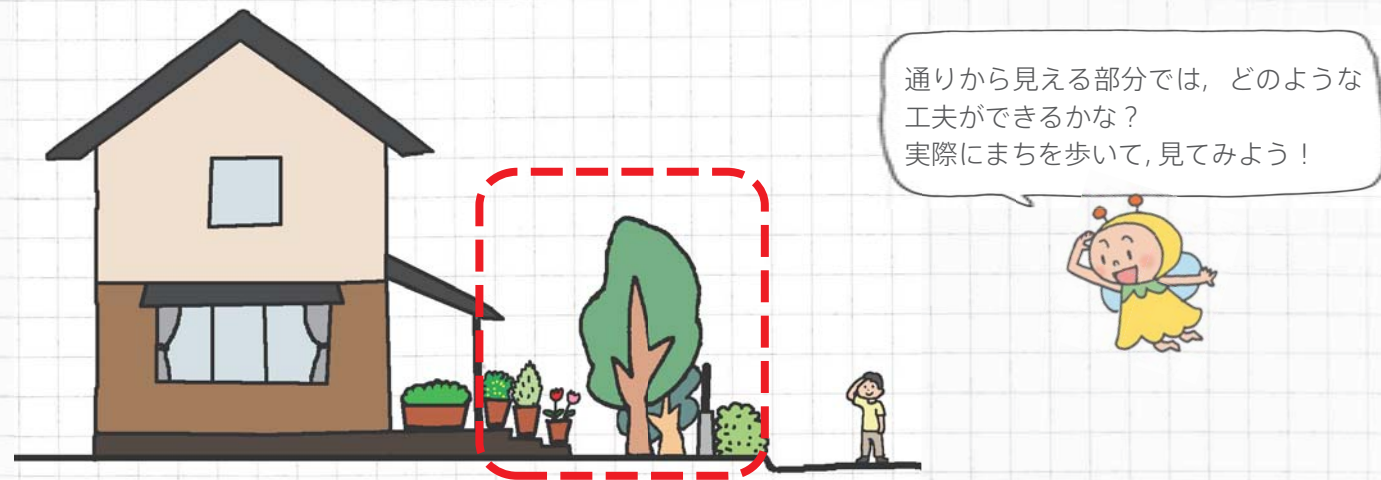
生垣

今号の目次

- 家の周りでできる工夫について考えよう!(1ページ)
- まちなみの魅力を高める身近な工夫(2ページ)
- 周辺との調和(3ページ)
- お知らせ(4ページ)

■まちなみの魅力を高める身近な工夫

通りに面する部分や通りから見える部分には、それぞれの家によって個性や表情があり、連なることで、一つのまちなみをつくっています。どのような工夫をすれば、より良いまちなみになるか考えてみましょう。



●玄関周りの工夫

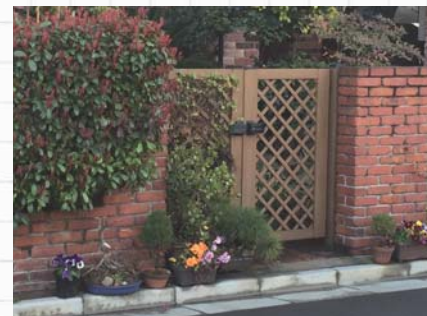
玄関周りは家の「顔」となります。空いたスペースなどを利用し、花や樹木などを植えると建物の印象が変わります。植える場所がなくても、プランターを玄関周りに置いたり、塀や柵を利用してプランターをかけたりする工夫をするだけで大きく印象が変わります。



道路からの見映えを意識した植栽。道行く人も楽しむことができます。



プランターを置くだけで印象が変わります。



塀なども利用して植栽をすることでより潤いを感じられます。

●通り沿いの工夫

人の目に触れやすい塀や柵に植栽を行ったり、生垣を利用することなどで緑が増え、落ち着いたまちなみとなります。また、視線の集まる交差点などに建つ家の角地部分に植栽を施すと、通りに潤いを与えます。



塀や柵の前に、植栽することで印象が変わります。



生垣は遮蔽感を与えず、プライバシーも確保できます。



角地を利用して植栽をすることで通りに潤いを与えます。

■周辺との調和

周辺の建物の工夫も意識してみましょう。一軒一軒の通りと敷地の境目の工夫ももちろん大切ですが、通り全体につながりや連続性などをとせると、まちなみの魅力向上につながります。



周辺との調和を意識し、塀や柵の高さを揃えることで、通り全体のまちなみにまとまりが生まれます。



塀の前に植栽をしたり、柵にプランターをかけるなど緑化の工夫をすることで、まちなみに潤いとまとまりが生まれます。



周辺の家と緑の量や高さを揃えたり、塀や柵の色を同系色で合わせることで、まちなみに統一感が生まれます。



通り全体で緑の量や高さを揃え、調和のとれたまちなみとなっています。

ポイント

- ・玄関周りの空いたスペースを利用し、花や緑を植えたり、プランターを置くなど工夫することで、大きく印象が変わります。
- ・塀や柵に植栽をしたり、生垣を用いることで、通りに潤いを与えます。
- ・塀や柵は周辺との調和を意識し、高さを揃えたり、家周りの緑の量や高さを合わせることで、調和のとれたまちなみになります。